

音の果実

コンサート2009 | 秋

空間に匂ひかつよくな、みずみずしい音の果実とは?
時空を越え、演奏家に響いた、たえなる室内楽とうた、
音の豊饒な生命と官能が交響する一夜。

Marumi Yoshikawa 吉川真澄
(ソプラノ)

Yoshiko Hannyu 般若佳子
(旧姓佐藤、ヴィオラ)

Akiko Fujita 藤田朗子
(ピアノ)

キーヨン・チョン:「鐘の音はまだ心に響いて」
プリテン:「深紅の花弁は眠りに就く」
ドビュッシー、アーン、ミヨー、フーランクの歌曲
ミヨー:「四つの顔」
湯浅譲二:「愛は似る。降りくる雪の…」 「空」
:「Subliminal Hey J」
間宮芳生:『日本民謡集』より「子守唄」「まいまい」
シューマン:「3つのロマンス」
レフラー:「4つの詩」

11/23

月・祝 4:00pm

文翔館 議場ホール

山形県土器内、TEL 023-635-5500

◎料金 (全席自由)

前売¥2,500 / 当日¥3,000 (学生: 前売¥1,500 / 当日¥1,700)

◎お問い合わせ・予約

山形事務局

tel / fax 023-645-0373

マルメロ

tel 03-5627-7583 fax 03-5627-7584

E-mail: marmeloyama@gmail.com

◎制作 / 朗読: 斎藤 朋 ◎主催: 音の果実実行委員会

◎助成:  野村国際文化財団

音の果実

コンサート2009 | 秋

種子は楽譜、うたうは果実。

もちろん、種子も樹も枝も葉も、果樹のみならず、自然のあらゆる生命とモノはうたっています。
 けれど、わたしたちがそれを感知して〈うた〉を聴く、また音楽に還元できないのは、ほんとうに口惜しいことです。
 秋の果樹園。生い繁る一面の緑にたわわと稔る、紅や黄緑、黄金色にかがやく林檎や梨、洋梨たちの交響楽。
 かつてセザンヌが、林檎1個を描いて世界を驚かせたように、うたを、音楽を奏でられたら――。
 わたしたちは、まだ出会ったことのない、未知の音の果実を探しています。
 作曲家が、恋や苦悩や祈り、社会や詩や絵や自然に触発され描いた譜面―音楽の種子は、まるで精緻な遺伝子の設計図のようです。
 そしてその成果は、演奏家という大地に、日や風や雨や鳥やムシやヒトがかかわって初めて花を咲かせ、珠玉の実をならすことができます。
 古今東西の作曲家が夢見、つくり上げた音の果実の歓喜を、今まさに生まれたばかりのようにみずみずしく現してみたい。
 無垢なかたちと色彩、香り、舌ざわり、果汁が滴る、もぎたての果実のうたを。ときに死と再生の影を漂わせながら。
 今なお詩情ゆたかなドイツ・ロマン派から、20世紀フランス歌曲の精華、イギリス、ドイツ、そしてマレーシア、日本の現代にいたる佳曲、〈うた〉まで。
 真澄なる歌唱に、芳醇なヴィオラの響き、共鳴するピアノに朗読をくわえ、詩的で、彩りゆたかなコンサートを、好評だった昨秋に続き計画。
 現代の音楽の初演からクラシックの演奏まで、めざましい活躍をみせる演奏家たちによる、音の果実の饗宴にご期待ください。

三人はいま、日本で最も活躍している第一級の若手演奏家です。
 私は私自身の曲も含め、主として現代の音楽の演奏をこれまでしばしば聴いてきましたが、難曲を弾きこなす意欲や技術には敬服しています。この三人が、古典も現代も等価値にプログラムを組み、全国に演奏活動を展開していく企画は、質の高い演奏によって音楽を普及する最善のものと思います。
 作曲家 湯浅謙二



吉川真澄 (ソプラノ)

Masumi Yoshikawa (soprano)

岸和田生まれ。相愛大学音楽学部声楽専攻卒業。桐朋学園大学研究科声楽専攻終了。田中万美子、松本美和子、木村俊光の各氏に師事。E. アメリング、J. ティムス、K. ラーキー、鮫島有美子の各氏のマスタークラスを受講。浜離宮朝日ホール「高橋アキ ピアノドラマティック2003」、紀尾井ホール「日本の作曲」、オペラ「チェネレントラ」のクロリダ役、アンサンブルノマド定期演奏会、神奈川県民ホール「21世紀の音楽地図」「サントリーサマーフェスティバル」「東京ワンダーサイトリサイタル」などに出演。また「メサイア」「浄土」のソリストを務めるなど、歌曲、オペラ、現代音楽の幅広い分野で活躍している。第7回松方ホール音楽大賞受賞。平成16年度文化庁国内芸術インターシップ研修生。今年6月、間宮芳生新作オペラ「ボボイ」で主役舞を演じた。



般若佳子 (旧姓佐藤、ヴィオラ)

Yoshiko Hannya (former name; Sato, viola)

広島生まれ。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部及びブリュッセル王立音楽院卒業。故郷住岸子、辰日明子、江戸純子、菅沼準二、セルジュ・コロ、ライナー・ホフマン、ポール・デュ・クレルク、ガース・ノックスの各氏に師事。2005年に帰国するまでベルギーを拠点にイクトゥス&プロメテウスアンサンブル、モネ王立オペラ劇場の公演に多数出演するなどヨーロッパを中心に活躍。広島市最優秀新人賞、キジアーナ名誉ディプロマ賞受賞。2004年度文化庁芸術家海外研修員。現在は関東、関西にてクラシックから現代まで多岐にわたり活動している。秋吉台国際現代音楽セミナー招待演奏家。ネクスト・マッシュルーム・プロモーションメンバー。



藤田朗子 (ピアノ)

Akiko Fujita (piano)

東京芸術大学音楽学部器楽科(ピアノ専攻)、パリ国立高等音楽院伴奏科、同音楽院第三課程室内楽科を卒業。ピアノを中山ヒサ子、播本三恵子、倉沢仁子、辛島輝治、伴奏法を山洞智、Jean KOERNER、室内楽をGerard BUQUET、Jens MacMANAMAの各氏に師事。ソロの他、ニース国際夏季講習会、パリオペラ座などで公式伴奏者をつとめ、パリ音楽院オーケストラなどでも鍵盤楽器奏者として活躍。室内楽・新曲初演などで国内外の演奏家と共演。またチューバ・セルパン奏者の橋本晋哉と「Duo Transpneuma」を結成。1996年札幌交響楽団と共演。2003年より軽井沢国際音楽祭などに出演。

◎PROGRAM (予定) ◎

- キーヨン・チョン：「鐘の音はまだ心に響いて」(va)
- プリテン：「深紅の花弁は眠りに就く」(sop, va, pf)
- ドビュッシー：「星月夜」(sop, pf)
- アーン：「牢獄より」(sop, pf)
- ミヨー：「泉によせて」(sop, pf)
- ブーランク：オペラ『ティレジアスの乳房』より
「いいえ、旦那様」(sop, pf)
- ミヨー：「四つの顔」(va, pf)
- 湯浅謙二：「愛は似る。降りくる雪の…」(sop)、「空」(sop, pf)
：「Subliminal Hey J.」(pf)
- 間宮芳生：『日本民謡集』より「子守唄」「まいまい」(sop, pf)
- シューマン：「3つのロマンス」(va, pf)
- レフラー：「4つの詩」(sop, va, pf)

11/23 月・祝 4:00pm

文翔館 議場ホール

山形市旅籠町三丁目4番51号(山形県郷土館内)
 TEL 023-635-5500 <http://www.yugakukan.or.jp/bunshyokan/>

◎料金(全席自由)
 前売 ¥2,500 / 当日 ¥3,000 (学生：前売¥1,500 / 当日¥1,700)
 ◎お問い合わせ・予約
 山形事務局 | tel/fax 023-645-0373
 マルメロ | tel 03-5627-7583 fax 03-5627-7584
 E-mail: marmeloyama@gmail.com
 ほかプレイガイド | 八文字屋本店 MUSIC STORE、大沼山形本店、辻楽器店、富岡本店、ギャラリー葦

- ◎制作/朗読 齋藤 朋
- ◎主催 音の果実実行委員会
- ◎協力 NPO山形の音楽活動を応援する会・Mプロジェクト 撤回69/〇7、楽天夢座 西山形の果実ほか
- ◎宣伝美術 井原靖章
- ◎助成 野村国際文化財団

